

11月29日(水) 15:00~
秋北ホテル

産学活性化テク/セミナー

セミナー
交流会

無料
3,000円

1

利用目的に応じた材料開発における 工学からのアプローチ

金属材料、セラミックス及び炭素材料などの無機材料は様々な特性をもち、既に多くの分野で用いられています。これら材料を開発する場合、材料を適用する分野、すなわち利用分野における問題点を知り、材料を開発・改善する方法を探索する必要があります。その方法を理解するには、化学的・物理的根拠を明確にしなければなりません。本講演では、材料としての金属、セラミックス及び炭素を取り上げ、高温分野、抗菌分野及び生体分野に材料を応用するための思考方法とそれに基づいた材料開発について2, 3の例を紹介します。

秋田大学工学資源学部附属
環境資源学研究センター

助教授 山本 修 氏
60分

2

脊椎手術で必要とされる生体内材料 —臨床外科医の立場から—

脊髄、脊椎に病因がある疾患は多数あり、重症例では四肢の麻痺を生じます。これらを外科的に治療する場合、優れた生体内材料の使用が必須です。臨床外科医の立場から、現在手術で使用している生体内材料を紹介し、その問題点と次世代モデルへの要望をお話し

独立行政法人労働者健康福祉機構
秋田労災病院

整形外科医 奥山 幸一郎 氏
60分

☆講師の先生を囲んで交流会☆

締切：11月22日(水)

主催

秋田県北部テクノプラザ
秋田大学地域共同研究センター

共催

秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター
財団法人あきた企業活性化センター

現 職 秋田大学工学資源学部附属環境資源学研究センター助教授
専門分野 材料化学 炭素材料工学 生物化学
最終学歴 豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程物質工学専攻修了
学 位 博士(工学)[北海道大学]
 平成 2 年 豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程物質工学専攻修了
 平成 2 年 神奈川工科大学 助手(工学部応用化学科)
 平成 15 年 秋田大学 助教授(工学資源学部附属素材資源システム研究施設)
 平成 18 年 同大工学資源学部附属素材資源システム研究施設の改組に伴い
 附属環境資源学研究センター 助教授に配置換え
 現在に至る。

平成 14 年度炭素材料学会 学会賞

主な研究分野

半導体セラミックスの低環境負荷合成とその電気・磁気特性
 炭素材料を中心とした高温構造材料の耐酸化性と熱力学的特性
 無機材料の細菌の吸着特性・増殖抑制効果と生体材料(医工連携研究)

山本 修 氏

秋田大学工学資源学部附属
環境資源学研究センター
助教授

プロフィール

奥山 幸一郎 氏

独立行政法人労働者健康福祉機構
秋田労災病院 整形外科医

1958 年 4 月 11 日 宮城県石巻市生まれ
 1984 年 3 月 秋田大学医学部卒業
 4 月 秋田大学医学部整形外科入局
 以後、秋田県太平療育園
 秋田労災病院整形外科
 秋田組合総合病院整形外科などに勤務
 1994 年 医学博士号習得
 1994 年より秋田労災病院整形外科勤務
 2005 年 秋田労災脊椎センター長

2002 年 秋田大学整形外科同窓会奨励賞
 2003 年 独立行政法人労働者健康福祉機構、平成 14 年度優秀な研究
 —骨粗鬆症性脊椎に対する外科的治療の適応と限界—
 日本整形外科学会認定医
 日本脊椎脊髄外科指導医
 日本リハビリテーション認定臨床医

参加申込書



企業等名										
住 所					TEL			FAX		
参 加 者	役職		氏名		セミナー	参加・不参加	交流会	参加・不参加		
	役職		氏名		セミナー	参加・不参加	交流会	参加・不参加		

FAX: 0186-43-6250